

「住民のノーの思い受け止めて」



三國議長に請願書と署名を提出する余呉の明日を
考える会の世話役

高レベル放射性廃棄物最終処分場誘致問題

2114人分の署名添え

明日を考える会 町議会に請願書

余呉

余呉町の高レベル放射性廃棄物最終処分場誘致問題で、同町の町づくり団体「余呉の明日を考える会」は5日、町議会に対し、住民の半数を超える2114人分の署名を添え、国の公募に応じないことを求める請願書を提出した。畑野佐久郎余呉町長は、住民を代表する議会の意見を聴き処分場の公募を判断することとしている。請願書は議会に「踏み絵」を迫ることになり、12月町議会開会を控え態度が注目される。

【野々口義信】

同会は、町外から集めた署名と、隣接する岐阜県の「放射能のゴミはいらない！市民ネット・岐阜」「くらししぜんいのち 岐阜県民ネットワーク」が集めた署名も請願書として提出。

署名はトータルで855

54人分に達する。

請願書は、放射性廃棄物の有効な処分方法は確立されていないとし、放射能の影響は琵琶湖と近畿一円に広がるものが予想されるため、町長の応募の意思の撤回について、議会に力添えを求めている。

町役場で、「考える会」世話役の中山克己さん、村上直雄さんらから請願書を受け取った三國宏議長は「議会に諮って取り扱いを協議したい」と答えた。

同様の要請書を提出。村上世話役は「住民の大多数の思いを重く受け止め、施設のノーを判断してほしい」と訴えている。町議会は6日に議会運営委員会、全員協議会を開き、取り扱いを決める。

◎ 毎日新聞 ◎

地域ニュース 第1ページ

滋賀県内 2006年

12月6日 (水曜日)